

## 「語先後礼（ごせんごれい）」

校長 松本 雅史

11月の生活目標は、「自分からすすんであいさつをしましょう」ですね。

先週は、週番の先生たちから、子どもたちがとても挨拶を頑張っているという嬉しい報告がありました。私も廊下や階段ですれ違うときなど、皆さんに挨拶するように心がけていますが、挨拶をする人の中に、とても丁寧な人がいて感心させられます。それはどういう姿かというと、まず足を止めます、そして「おはようございます」と言葉を言って、その後にお辞儀をするのです。この「始めに言葉」その後「お辞儀」というのは、とても礼儀にかなっていて、その振る舞いには名前がついています。

「語先後礼（ごせんごれい）」といいます。字の通り、「語」は言葉のことです。言葉が先で、礼を後にするということです。歩いているときにいちいち足を止めての「語先後礼」は、廊下を歩く人の流れを止めてしまうこともありますから、いつでもできるとは限りませんが、礼儀正しいふるまいとはどういうものを指すのか、知っているということはよいことです。学校にお客様がおみえになったときなど、すすんで礼儀正しい挨拶ができると、ああこの子はよく分かっているなど、普段の挨拶以上に相手の気持ちを嬉しくさせることと思います。挨拶は、自分だけでなく、相手を気持ちよくさせて初めて意味があります。ですから、相手をしっかり見て、笑顔でできるといいですね。

それから、今読書旬間です。図書委員会の皆さんが、皆がより楽しく本に親しめるように工夫をしてくれていますね。この機会にさまざまなジャンルの本を読み、読書の楽しみを味わう秋にしていきましょう。

これで今朝のお話は終わります。